【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-194616(P2011-194616A)
【公開日】平成23年10月6日(2011.10.6)
【年通号数】公開・登録公報2011-040
【出願番号】特願2010-61370(P2010-61370)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月26日(2012.12.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
紙製の印刷媒体を支持する支持体上に前記印刷媒体を搬送する搬送部と、
前記支持体に対向するように配置されて、前記支持体に支持されている前記印刷媒体に対して液体を噴射する液体噴射ヘッドと、
を備える液体噴射装置であって、
前記液体噴射ヘッドと隣接するように設けられた静電電極を備えている
ことを特徴とする液体噴射装置。
【請求項２】
前記静電電極は、正極及び負極から構成される
請求項１に記載の液体噴射装置。
【請求項３】
前記静電電極は、前記印刷媒体が搬送される方向において前記液体噴射ヘッドと隣接するように配置される
請求項１又は２に記載の液体噴射装置。
【請求項４】
前記静電電極は、前記印刷媒体が搬送される方向における前記液体噴射ヘッドの両側に隣接するように配置されるとともに、該両側における極性が互いに異なる
請求項３に記載の液体噴射装置。
【請求項５】
前記静電電極は、正極及び負極の電極板が交互に積層された電極群からなる
請求項３に記載の液体噴射装置。
【請求項６】
前記液体噴射ヘッドが有する前記支持体側の面と、前記静電電極が有する前記支持体側の面を払拭するワイパ部材をさらに備え、
前記ワイパ部材は、前記印刷媒体が搬送される方向と直交する方向に沿って前記液体噴射ヘッドと前記静電電極とを払拭する
請求項３～５のいずれか一項に記載の液体噴射装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の液滴噴射装置は、紙製の印刷媒体を支持する支持体上に前記印刷媒体を搬送する搬送部と、前記支持体に対向するように配置されて、前記支持体に支持されている前記印刷媒体に対して液体を噴射する液体噴射ヘッドと、を備える液体噴射装置であって、前記液体噴射ヘッドと隣接するように設けられた静電電極を備えている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
この液体噴射装置において、前記液体噴射ヘッドが有する前記支持体側の面と、前記静電電極が有する前記支持体側の面を払拭するワイパ部材をさらに備え、前記ワイパ部材は、前記印刷媒体が搬送される方向と直交する方向に沿って前記液体噴射ヘッドと前記静電電極とを払拭する構成が好ましい。